

# 報 道 資 料

平成29年7月13日（木）

件名 米軍機による事故等に関する要請について

概要 このことについて、本日（13日）、山口県基地関係県市町連絡協議会が、下記の通り口頭要請を行いましたのでお知らせします。

## 記

### 1. 米海兵隊岩国航空基地への口頭要請

(1) 日 時：平成29年7月13日（木） 9時5分～9時40分

(2) 場 所：米海兵隊岩国航空基地

(3) 要請者：岩国市／岩国市基地政策担当部長 高田 昭彦  
山口県／岩国県民局次長 生月 雅美

(4) 相手方：米海兵隊岩国航空基地政務・地域対策室 ジョン F. ザンプラーノ室長

(5) 要請内容：

#### ① KC-130 空中給油機の墜落事故

米国での事故であったとはいえ、岩国基地に同型機が配備されていることから、基地周辺住民にも大きな不安を与えていることから遺憾である。

岩国基地の所属機においても、航空機の事故防止のため、機体の安全点検、パイロットや地上整備員等の安全教育の徹底等、実効性ある対策を講じること。

#### ② FA-18 ホーネットの予防着陸

重大な事故につながる恐れがあり、機体整備や安全点検、安全運用の一層の徹底を図ること。

#### ③ 7/10 の航空機騒音について

11日に口頭要請したところであるが、改めて、滑走路運用時間内であっても可能な限り騒音の軽減に努めること、市街地上空の飛行高度の遵守、人口密集地上空の飛行を可能な限り控えること。

### (6) 回答内容

① この度の痛ましい事故により、市民に不安と懸念が生じたことを理解している。この機会に、米海兵隊岩国航空基地は、日米同盟における我々の義務の一環として、飛行運用における安全が最優先事項であると認識していることを再度、申し上げたい。飛行安全の確保のため、徹底した検査、教育に日々の努力を重ねていく。

② 飛行運用における安全が最優先事項であり、飛行安全の確保のため、徹底した検査、教育に日々の努力を重ねていく。

③ 7/10の航空機騒音について、地域住民の皆様にご不便があったことは遺憾である。今回の飛行運用は岩国基地所属部隊による任務上不可欠な通常訓練であった。基地では航空安全にしっかりと焦点をあて、この地域での運用における準備態勢を維持することに専心しつつ、必要不可欠なパイロットの訓練を行うにあたり、生じる騒音に今後も細心の注意を払っていく。

④ 要請内容は、基地司令官に伝える。

## 2. 中国四国防衛局岩国防衛事務所への口頭要請

(1) 日 時：平成29年7月13日（木） 10時30分～10時35分

(2) 場 所：中国四国防衛局岩国防衛事務所

(3) 要請者：米海兵隊岩国航空基地への要請者に同じ

(4) 相手方：中国四国防衛局岩国防衛事務所長 森川 顕臣

(5) 要請内容：

① KC-130空中給油機の墜落事故

この度、発生した事故の原因究明と再発防止、安全対策の徹底等を講じるとともに、地元に対し速やかに情報提供を行うこと。

② FA-18ホーネットの予防着陸

百里基地での予防着陸については、重大な事故につながる恐れがあり、機体整備や安全点検、安全運用の一層の徹底を図ること。

以上の内容を米側に要請すること。

(6) 回答内容

① KC-130空中給油機の墜落事故

今回のKC-130の墜落事故については、今後とも情報の把握に努め、お伝えできる情報が得られた場合には、速やかに情報提供したい。

② FA-18ホーネットの予防着陸

既に米側に対しては、FA-18の予防着陸について、原因究明と再発防止の徹底等を申し入れたところである。

③ 本日の要請の内容については、上部機関である中国四国防衛局に伝える。

担当課 岩国市総合政策部基地政策課 TEL 0827-29-5024